

令和六年八月号

《第一四〇号》

しるへび

宗教法人岩國白蛇神社

〒740-0017

今津町六丁目4-2

☎ 30-3333

はづき 葉月の祭典・行事案内

【月次祭】 九時半

九日(金)

二十一日(水)

【大掃除】 八時より

四日(日)

神社・保存会共催



【白蛇供養祭】

白蛇保存会主催

十六日(金) 関係者のみ参列

【昭和天皇御製】《第一二四代》

海の外の陸に小島にのこる民の

上安かれとただいのるなり

(昭和二十年)

8月5日(月) 午後5時より

岩国護国神社「みたままつり」

岩国市民の守神である3033柱の

英霊に感謝の誠を捧げませう。

※ 献灯(一張り二千円から申込み

できます)

【夏越の大祓】

六月三十日

六月晦日午後三時より拝殿において、大祓の式が行われました。修祓の後に「大祓詞」を宮司が先導し、参列者は途中から一緒に「大祓詞」を奉唱しました。続いて、切幣を手に執り左右と自らの身体に振り掛けながら「祓へ給へ、浄め給へ」と唱へ、この半年の罪穢れを祓ひました。そして、当神社の御祭神に對して、あと半年間の無病息災と社会の平安を祈願いたしました。人形は夕刻に今津川に流しました。



流された人形



切幣祓ひをする参列者

【推薦図書】

『日本列島はすごい』

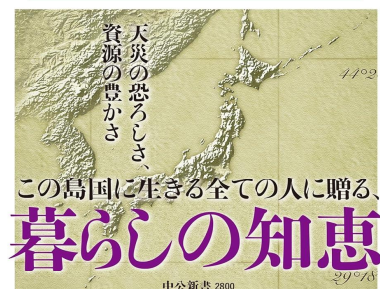
中公新書

水・森林・黄金を生んだ大地

伊藤 孝 著 一〇一二円

「…本書は、ユーラシア大陸の東の端にあり、太平洋の西の海上に浮かぶ大小1万4000余の島々―日本列島の『すごい』、優れているさま恐ろしいさまの両面を地球科学の観点から迫り、鉄や黄金といった資源に光をあてつつ、『暮らしの場』として捉えなおすことを目標にしている。(略)本書を人間の世界に例えるなら、家柄や自己紹介にあたる家系図と履歴書を整え、さらに暮らしを考える上で不可欠な財産目録

を作ってみた、ということになる。…」
(まえがきから)



『若者が選んだ安倍晋三』 一〇〇のことば

幻冬舎

安倍晋三デジタルミュージアムプロジェクト

1400円＋税

「7月8日は多くの人々が悲しんだ日でした。私たちのリーダーが凶弾に斃れ、志半ばで悲劇の最期を遂げました。喪失感、悲しみ、前途への不安は今も続いているように思えます。

安倍晋三元総理は、美しい国づくり、戦後レジームからの脱却、アベノミクスと経済再生、積極的平和主義、自由で開かれたインド太平洋、一億総活躍社会、教育再生、震災復興、拉致問題、憲法改正への議論など、憲政史上最長の在任期間で多くの国家的課題に取り組みました。

多くの課題に挑戦する中で、安倍元総理は数多の『ことば』を遺しました。未来への不安が尽きない今日こそ、その力強い『ことば』は私たちが前へ一歩進むためのヒントになる。(略)

私たちの未来は、過去や歴史と地続きにあります。言い換えれば、安倍元総理が取り組まれた時代の先に私たちの人生があります。『安倍総理の時代』、その実績と意味を辿り、自分なりに問うことを経て、あの日から次の一步を真に踏み出せるといえるのではないかと思います。・・・(序文より)



「古事記」中巻 (五十九) 神倭伊波礼毘古命(神武天皇)の東征

八咫鳥に導かれて

目覚めると夢で教えられた通りに剣がありましたので、それを献上いたします」と言ひました。その剣の名は、佐士布都神(サジフツノカミ)と言ふ。別の名は、甕布都神(ミカフツノカミ)と言ひ、また別の名は、布都御魂(フツノミタマ)と言ひ、この剣は今石上神宮に祀られてゐます。

さらにまた、高木神が諭して言はれるには「天つ神の子らよ、この先に行つてはならない。荒ぶる神がうじゃうじゃゐるから。天から八咫鳥を送るから、その八咫鳥が導く通りにその後を追つて進みなさい」と言はれました。

言はれたとほりに八咫鳥の後を追つて行くと、吉野川の河口に着きました。そこに筌を仕掛けて魚を捕つてゐる者がゐました。天つ神の子が「お前は誰だ」と問ふと、「私は国つ神で名は、贅持之子(ニヘモツノコ)と申します」と答へました。(これは、阿陀の鵜飼の祖先です)その先を行くと、尻尾のある者が井戸の中から出てきました。その井戸の水はきらきらと光つてゐました。「お前は誰だ」と尋ねると、「私は国つ神で名は井氷鹿(ニヒカ)と申します」と答へました。(これは吉野の首の祖先です)そこから山に入つて行くと、また尻尾のある者に会ひました。その人は大きな岩を押し分けて出てきました。「お前は誰だ」と尋ねると、「私は国つ神で名は石押分之子(イハオシワタノコ)と申します。天つ神の子が来られると聞いてお迎へにあがりました」と答へました。(これは吉野の国巢の祖先です)それから山を踏み越えて、道を穿つて進んで宇陀まで行きました。よつてその土地を宇陀の穿と云ひます。(続く)

【第九回崇敬会役員会】七月六日



この日の岩国市は三六℃といふ猛暑の日でありましたが、会長を始め五名の役員の方々によりおよそ一時間にわたり協議して頂きました。五年度の収支決算、本年度の予算、そして神社に寄進する物件について。又、来年度巳年の初詣対策等、貴重なご意見をうかが

ふことができました。崇敬会員の増員についても、目標などが示され、神社並びに保存会関係者への加入の呼びかけや、看板などの作製などが決められました。左に会員の募集要項を記して置きますので、未入会方宜しく願ひ致します。

【会員の特典】(一部)

- 年末に当神社の御札を郵送します。
- 拝殿内にて参拝ができます。
- 崇敬会便りを年に二回送付します。
- 入会時に記念品を贈呈します。
- 遠方の会員には御札・お守の郵送を承ります。

【年会費について】

- ・個人会員 一口(二千円)から
- ・法人会員 一口(二万円)から

【入会方法】

- 一、郵便振込Ⅱ振込用紙(社務所にあります)に必要事項を記入され郵便局にて払込みします。
- 一、現金にて、神社の社務所窓口にて受付ます。
- 一、山口銀行岩国支店の普通預金口座に振込みできます。左に口座番号等を記してをきます。

加入者名・岩國白蛇神社崇敬会

口座番号・5198306



八咫鳥

